

日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red  
Cross Kyushu International College of  
Nursing

教員業績(2002年度)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2013-07-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日本赤十字九州国際看護大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/294">https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/294</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 一般教養

### 〈著書〉

- 1 荒木正見(2003). 場所論と癒し 編者：荒木正見 共著者：入江正洋, 荒木登茂子  
ナカニシヤ出版 (担当分：全体の編集、全体のコメント, 第一章「場所論と解釈の真  
理性」, 1-24)
- 2 徳永哲(2002). マーケヴィッツ伯爵夫人とイエイツの詩 梅光女学院大学公開講座  
『戦争と人間』笠間書院

### 〈論文〉

- 1 荒木正見(2002). ヘーゲルと西田幾多郎の歴史構造 —場所論による比較—,  
日本赤十字九州国際看護大学Intramural Research Report 第1号, 1-18
- 2 荒木正見(2002). ヘーゲル『精神現象学』における場所論的萌芽, ヘーゲル哲学研究  
第8号, 41-55, ヘーゲル研究会
- 3 荒木正見(2003). 芥川龍之介と親鸞 —『蜘蛛の糸』の親性をめぐって—比較思想論輯  
—比較思想学会福岡支部紀要第5号, 1-7
- 4 荒木正見(2003). 下関市唐戸市場の変貌における場所論的意味 —一九三三年と二〇〇  
二年—, 地域文化研究 —梅光学院大学地域文化研究所紀要第18号, 5-20
- 5 徳永哲(2002). アイルランド大飢饉(1845~48年)の救済策と疫病 日本赤十字九州国  
際看護大学Intramural Research Report 第1号

### 〈学会発表〉

- 1 荒木正見(2002). 芥川竜之介『蜘蛛の糸』における親性 —親鸞との比較において—  
日本比較文学会九州支部2002年度春季大会
- 2 荒木正見(2002). 独法化後の国立療養所の看護教育への期待 (シンポジスト)  
第57回国立病院療養所総合医学会
- 3 荒木正見(2003). 下関市唐戸の場所論, 比較思想学会福岡支部第39回大会
- 4 荒木正見(2003). 人間学における質的研究の方法 —現象学を基礎として—  
比較思想学会福岡支部第41回大会
- 5 徳永哲(2002). イエイツが創造した「詩劇」と伊藤道郎の功績 日本比較文学会秋季九  
州大会
- 6 徳永哲(2003). ジョン・M・シング『西国の人気男』論 —シング自身の信仰の問題  
と中心人物クリスティの言動分析—, 日本キリスト教文学会九州支部大会

## 基礎看護学

### 〈著書〉

- 1 長谷川良子, 小島通代 (2002). MTシステムを応用した脳疾患患者の排尿自立達成の

- 予測, 田口玄一他監修 『品質工学応用講座 MTシステムにおける技術開発』 295—304, 日本規格協会, 東京
- 2 小島通代 (2003). 脳疾患患者における意識—排尿関係図による排尿自立達成時期の予測に関する基礎的研究, 中島紀恵子他編集 『「看護研究」アーカイブス』 第3巻199—228, 医学書院, 東京.
  - 3 青木幸昌, 二重作清子 (233名中181番目) 他著 (2002). 内蘭耕二監・井出千束他編・看護学大辞典第5版: メヂカルフレンド社

〈論文〉

- 1 Furukawa F, Kazuma K, Kawa M, Miyashita M, Niuro K, Kusakawa R, Kojima M. (2003). Effects of an off-site walking program on energy expenditure, serum lipids, and glucose metabolism in middle-aged women. *Biological Research for Nursing*, 4(3): 181—192.
- 2 西川晶子, 稲田三津子, 小島通代, 前田久美子, 渡邊三紀子, 稲田久美子, 沼田玲子, 池田美里, 天野幹子, 長澤利枝 (2003). 注射業務における看護職の安全確認行動の分析, 日本赤十字看護学会誌. 3(1): 70—79.
- 3 山本捷子, 谷岸悦子, 江藤節代, 寺門とも子 (2002). 災害看護学の学習方法の試み～日赤福岡県支部の救護訓練参加による学生の学びから～, 日本赤十字九州国際看護大学Intramural research Report 第1号, pp.88～98
- 4 二重作清子, 谷岸悦子, 椿原(河野)久美子, 蒲池千草, 小島通代 (2002). 地域で行う基礎看護学実習の取り組みと今後の課題, 日本赤十字九州国際看護大学 Intramural Research Report 第1号: 49—59
- 5 古庄夏香, 二重作清子, 大坪文代 (2002). 糖尿病を合併した血液透析患者の自己管理の実態調査, 一体重増加と年齢との比較—第33回日本看護学会論文集—成人—. 51—53.
- 6 薬師寺文子, 二重作清子 (2002). 終末期患者の看護について理解するための教育方法の検討—VTR鑑賞後のレポート分析—, V7 N.1 臨床死生学会: 40—46
- 7 江藤節代, 二重作清子 (2002). 慢性腎疾患をかかえて生活する思春期の子どもの病気体験—面接調査による回想から—, 第33回日本看護学会論文集—小児看護—. 33—35.
- 8 二重作清子 (2002). 血液透析患者の病気の体験における心理—病気の受容に影響する要因の解明, 福岡大学大学院論集: 1—24
- 9 本田多美枝 (2003). 自伝小説「この土の器をも」にみる三浦綾子の人格発達—成人期の心理社会的発達を中心に—, 比較思想学会福岡支部紀要 第5号, 39—53.
- 10 上村朋子 (2003). 三浦綾子「草のうた」における幼年期と発達課題, 比較思想学会福岡支部紀要, 第5号, 13—23

- 11 河野久美子 (2003). 三浦綾子「道ありき」における死と再生 —前成人期における同一性の発達—, 比較思想学会福岡支部紀要, 第5号, 25-37.

〈学会発表〉

- 1 清水ひろみ, 山口環, 清水節子, 青田良子, 西川晶子, 沼田玲子, 稲田久美子, 長澤利枝, 前田久美子, 池田美里, 渡邊三紀子, 大谷則子, 稲田三津子, 小島通代 (2002). 注射業務において危険要因連鎖を切断した回復事由に関する研究(第2報) —「業務の中断」と「指示受け」を中心に, 第3回日本赤十字看護学会学術集会.
- 2 椿原(河野)久美子, 二重作清子, 谷岸悦子, 小島通代 (2002). 看護学生の自己の生活を知るための実態調査(その1) —生活自己調査に対する感想文の分析, 日本看護学教育学会第12回学術集会講演集, 280.
- 3 江藤節代, 二重作清子 (2002). 慢性疾患をもつ子どもの病気体験—思春期の透析患者— (口演), 第33回日本看護学会抄録集—, 小児看護—: 25
- 4 江藤節代, 二重作清子 (2002). 思春期の慢性腎不全疾患患児の自己決定への支援—成人期にある透析患者の病気体験のインタビューから— (口演), 日本腎不全看護学会学術集会抄録集: 23
- 5 谷岸悦子, 二重作清子, 小島通代 (2002). 地域における基礎看護学実習の取り組みと今後の課題 —実習に対する対象者の受けとめ方—, 第22回日本看護科学学会講演集, p.205
- 6 二重作清子, 谷岸悦子, 本田多美枝, 小島通代 (2002). 地域における基礎看護学実習の取り組みと今後の課題—レポートによる学習内容の分析—, 第22回日本看護科学学会学術集会: 374
- 7 赤星成子, 土屋八千代, 二重作清子 (2002). 母親が障害児とともに生きることの意味—いのちが意味で満たされることとは—, 第22回日本看護科学学会: 259
- 8 古庄夏香, 二重作清子, 大坪文代 (2002). 糖尿病を合併した血液透析患者の自己管理の実態調査, —体重増加と年齢との比較—日本看護学会—成人—.
- 9 高橋恭美, 二重作清子, 古庄夏香, 大坪文代, 古田徳子 (2002). 透析医療事故の実態調査—インシデントレポートからの要因分析—, 九州人工透析研究会抄録集: 15
- 10 本田多美枝 (2003). 「この土の器をも」にみる三浦綾子成人期の人格発達, 比較思想学会福岡支部 第44回大会
- 11 上村朋子 (2003). 三浦綾子「草のうた」における幼年期と社会, 比較思想学会福岡支部 第44回大会.
- 12 河野久美子 (2003). 三浦綾子「道ありき」における自己同一性の発達, 比較思想学会福岡支部第42回大会.

〈助成・報告書・その他〉

- 1 上村朋子, 本田多美枝. 概念分析 (Concept Analysis) の手法についての検討. (学内奨励研究)

## 成人看護学

### 〈著書〉

- 1 藤原泰子, 大塚邦子編著, 幸田麻衣子, 森本みづか, 小手川良江, 平川オリエ執筆協力 (2002), Quick Manualシリーズ, 基本のときからとっさのときまで 在宅看護, 真興交易出版, 東京
- 2 青木幸昌, 浅川雅子, 天木幹博, 他269名中134番目 下山節子 (2002). 看護学大辞典第5版, メヂカルフレンド社. (担当分 災害看護 異文化看護)
- 3 黒田研二, 加納栄三, 濱田和孝, 他15名中 10番目 下山節子 (2002). 学生のための医学概論共著第2版, 医学書院 (担当分: 医療の国際化 途上国における保健医療活動)
- 4 大塚邦子, 下山節子, 古賀節子, 小手川良江 (2002). 短期連載看護事故防止のための看護管理講座-前編 ヒューマンエラーの分析-, 外来看護新時代2001, Vol.7 No.2, 86-91
- 5 大塚邦子, 下山節子, 古賀節子, 小手川良江 (2002). 短期連載看護事故防止のための看護管理講座-後編 人事異動による事故をどう防ぐか-, 外来看護新時代2001, Vol.7 No.3, 79-86.

### 〈論文〉

- 1 大塚邦子, 山勢善江, 古賀節子, 平川オリエ, 小手川良江 (2002). 第91回看護師国家試験の出題傾向, ナースエデュケーション, 3(2), 96-105.
- 2 寺門とも子, 大塚邦子, 石松直子, 平川オリエ (2002). 高齢者理解のための効果的な学習方法-看護学生の個人史インタビューによる人生観・健康観の学び-, 日本老年看護学会誌, 7 (1), 88-94.
- 3 大塚邦子, 山勢善江, 古賀節子 (2002). 看護師国家試験新予想問題 客観式問題 成人看護学, クリニカルスタディ 臨時増刊号, 23(12), 50-69.
- 4 大塚邦子, 山勢善江, 古賀節子 (2002). 看護師国家試験新予想問題 状況設定問題 成人看護学, クリニカルスタディ 臨時増刊号, 23(12), 106-117.
- 5 大塚邦子, 小手川良江, 石井美紀子 (2003). 看護過程セミナー, 食道癌患者の看護, ナーシング カレッジ, 7 (1), 24-37.
- 6 下山節子, 水町淑美, 八尋恵子 (2002). 九州地区における腹膜透析患者の実態と腹膜透析の自己管理を妨げる要因, 日本腎不全看護学会誌, 第4巻第2号2002年11月, 52-61

- 7 山勢博彰, 山勢善江, CNS-FACE開発プロジェクトメンバー (2003). 重症・救急患者家族アセスメントツールの開発—完成版CNS-FACEの作成プロセス—, 日本集中治療医学会雑誌, 10(1), 9-16.
- 8 喜多悦子, 平川オリエ, 古賀節子 (2002). エイズ治療薬の援助と製造ライセンス問題, 公衆衛生, 66 (4), 270-274.

〈学会発表〉

- 1 古賀節子, 大塚邦子(2002). 看護大学生の創作民話からの学びと自己教育力との関係—成人看護学概論における感想文の分析より—, 第3回日本赤十字看護学会学術集会, 88-89.
- 2 石松直子, 大塚邦子, 山口典子, 宮本笑子, 江田柳子 (2002). 看護職のメンタルヘルスに関する研究—新人看護師のエゴグラムの変化と職場適応との関連—, 第28回日本看護研究学会学術集会, 25 (3), 232.
- 3 大塚邦子, 石松直子, 坂本洋子 (2002). シングル・セッション・カウンセリングの実態と有効性—看護師を対象とした場合—, 日本産業カウンセリング学会第7回大会論文集, 117-120.
- 4 河野喜代美, 倉本小百合, 新原愛子, 田中利恵, 下山節子, 藤見惺(2002). 血液透析看護に対する期待と看護実践に対する評価 (第1報) 第46回日本透析医学会学術集会, 867.
- 5 水町淑美, 下山節子, 平川オリエ(2002). QOLの視点から捉えた在宅腹膜透析患者の家族間の健康問題, 第8回日本腹膜透析研究会.
- 6 寺門とも子, 下山節子, 中門文子, 河野真由美, 川本直子, 筒信隆(2002). 糖尿病患者会入会の有無とQOLとの関連—PAID (糖尿病問題領域質問表), 社会的支援から—, 第7回日本糖尿病教育・看護学会学術集会
- 7 下山節子 (2002). 看護職における能力主義の現状と課題, 日本労務学会九州部会第12回例会
- 8 八尋恵子, 下山節子 (2002). 腹膜透析 (PD) 者の透析期間から捉えたQOL, 第5回日本人腎不全看護学会
- 9 Setsuko Shimoyama, Orie Hirakawa, Keiko Yahiro, Tosimi Mizumachi, Andrea Schreiner, Tatsuyuki Kakuma (2002). The Relationship Between Illness Characteristics, Care-Giving Burden, and Health-Related Quality of Life Among Peritoneal Dialysis Patients and Their Family Members, The first ASIAN Chapter Meeting—ISPD, Poster Session, Hong Kong
- 10 山勢善江, 山勢博彰 (2002). 臓器提供に関わる看護師の意識および今後の課題に関する研究, 第4回日本救急看護学会.

- 11 寺門とも子, 大塚邦子, 石松直子, 平川オリエ (2002). 高齢者理解のための個人史インタビューからみた高齢者の人生観・健康観と看護学生の学び, 日本老年看護学会第6回学術集会, 116.
  - 12 平川オリエ, 下山節子 (2002). QOLの視点からみた腹膜透析患者と家族の関係, 第5回日本腎不全看護学会学術集会, 37.
- 〈助成・報告書・その他〉
- 1 横田裕行 (主任研究者), 山勢善江, 山勢博彰. 脳死下での臓器移植の社会的基盤に向けての研究. 平成14年度厚生科学研究補助金 (ヒトゲノム・再生医療等研究事業), (研究期間 2002.4~2003.3).
  - 2 小手川良江, 山勢善江. 海外のクリティカルケアの場におけるターミナルケア. (学内奨励研究)
  - 3 下山節子. 健康教室—糖尿病の予防 (講演), 宗像市赤間公民館, 宗像市. 2002年6月
  - 4 下山節子. 透析看護師の育成 (講演), 平成15年第1回 北九州透析懇話会, 北九州市. 2003年1月

## 老人看護学

### 〈論文〉

- 1 Schreiner, AS, Morimoto, T. (2002). Factor structure of the Cornell Scale for Depression in Dementia among Japanese poststroke patients. *International Journal of Geriatric Psychiatry* .17(8):715-22.
- 2 Schreiner, AS, & Morimoto, T. (2003). The Relationship Between Mastery and Depression among Japanese Family Caregivers. *International Journal of Aging and Human Development*.,56(4):307-321.
- 3 Schreiner, AS, Hayakawa, H, Morimoto, M, Kakuma, T. (2003). Screening for late-life depression: Cutoff scores for the Geriatric Depression Scale and the Cornell Scale for Depression in Dementia Among Japanese Subjects. *International Journal of Geriatric Psychiatry* 18(6):498-505.
- 4 Morimoto, T, Schreiner, AS, & Asano, H. (2003). Caregiver Burden and Health Related Quality of Life Among Japanese Stroke Caregivers. *Journal of Age and Ageing* Vol 32(2):218-223.
- 5 Morimoto, M, Schreiner, AS. (2003). The concept of quality of life. *Japanese Journal of Rehabilitation and Behavioral Analysis* vol.1:12-13.
- 6 原等子, 中島紀恵子. 痴呆性高齢者の家族介護時間の特性—家族介護主担者の時間的様相—日本老年看護学会誌, 7(2)70-82, 2003

- 7 寺門とも子, 大塚邦子, 石松直子, 平川オリエ (2002). 高齢者理解のための効果的な学習方法—看護学生の個人史インタビューによる人生観・健康観の学び—, 日本老年看護学会誌 7 (1)88—94.

〈学会発表〉

- 1 A.schreiner, T.Terakado, N.Hara, C.Okubo, T.Kakuma. Perceived Barriers to Instituting a Palliative Care Team at a Geriatric Hospital in JAPAN.( The Gerontological Society of America 56th Annual Scientific Meeting, The Gerontologist, 43(S1), p199, 2003)
- 2 Hara.N, Terakado.T, Schreiner, AS, Okayama. A Focus Group Investigation of Hospital Nursing Staff's Perceptions of How to Improve End-of-Life Care for Patients with Dementia in JAPAN.  
(The Gerontological Society of America 56th Annual Scientific Meeting, The Gerontologist, 43(S1), p202, 2003)
- 3 寺門とも子, 下山節子, 中門文子他 3 名 (2002). 糖尿病患者会入会の有無とQOLとの関連—PAID (糖尿病問題領域質問表), 社会的支援から—, 第7回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 113.

〈助成・報告書・その他〉

- 1 原等子. 終末期痴呆性高齢者に対する「緩和口腔ケア」の適用による効果 (2003年度 笹川医学 医療研究助成, 共同研究者: A.Schreiner, 寺門とも子, 佐伯あゆみ)
- 2 原等子. 赤十字介護フォーラムin福岡 シンポジウム「痴呆高齢者の介護」(日本赤十字社福岡県支部, アクロス福岡, 2003.5)
- 3 原等子. 宗像地区ふくおか高齢者大学 (ゆうゆう大学) 基礎講座「ボランティア活動の重要性—老人ホームにおけるアクティビティケア」(宗像市教育委員会, 宗像市中央公民館, 2003.12)

## 母性看護学

〈学会発表〉

- 1 Takenoue K, Satoh T. (2002), Anxiety after Lapanese women' s early miscarriage, International Confederation of Midwives 26th Triennial Congress April 14-18, 2002 Vienna Austria Center
- 2 池田公子, 河野寿美代, 長沼貴美, 佐藤珠美 (2002). 産科救急を考える —救急救命士と分娩, 第43回日本母性衛生学会総会.
- 3 石松直子, 江藤節代, 山本捷子 (2003. 6). 大学生の持つ育児イメージと対児感情 第 1 報; 第 4 回日赤看護学会学術抄録集.



〈助成・報告書・その他〉

- 1 竹ノ上ケイ子, 佐藤珠美, 辻恵子, 早期自然流産後の女性と配偶者の喪失, 悲嘆とその支援, 平成14年度科学研究費補助金. (研究期間: 平成14年度~平成16年度)

小児看護学

〈著書〉

- 1 青木幸昌, 浅川雅子, 天木幹博, 他269名中36番目 江藤節代 (2002). 看護学大辞典, メジカルフレンド社, (担当分: 赤ちゃんにやさしい病院)

〈論文〉

- 1 江藤節代 (2003). 学童保育における子どもの健康と安全に関する指導員の学習ニーズ, 小児保健研究, Vol.62, No.1, 96-103
- 2 江藤節代, 二重作清子 (2003). 慢性腎疾患をかかえて生活する思春期の子どもの病気体験 -面接調査の回想から-, 日本看護学会論文集-小児看護-, 33-35
- 3 山本捷子, 谷岸悦子, 江藤節代 (2002). 災害看護学における学習方法の試み, 日本赤十字九州国際看護大学Intramural Research Report, 第1号, 88-98

〈学会発表〉

- 1 山本捷子 (2002.8). J R列車追突事故で多数の負傷者を受け入れた病院の実態と課題, 日本災害看護学会第4回年次大会
- 2 江藤節代 (2002). ダルク利用の薬物依存症者の回復過程, 第12回日本精神保健看護学会学術集会, 37-38
- 3 江藤節代, 二重作清子 (2002). 慢性腎疾患をかかえて生活する思春期の子どもの病気体験 -面接調査の回想から-, 第33回日本看護学会-小児看護-, 25
- 4 江藤節代, 二重作清子 (2002). 思春期の慢性腎疾患患児の自己決定への支援-成人期にある透析患者の病気体験のインタビューから-, 第5回日本腎不全看護学学会, 23
- 5 石松直子, 江藤節代, 山本捷子 (2002). 大学生がもつ育児イメージと対児感情 第1報, 第4回日本赤十字看護学会学術集会抄録集, 37
- 6 今井家子, 金井悦子, 小原真理子, 木村恭子, 山本捷子, 谷岸悦子, 村上照子, 尾山とし子 (2003.8). 水害時における被災者としての看護師の体験-診療所看護師と救護所看護師の比較
- 7 木村恭子, 小原真理子, 山本捷子, 谷岸悦子, 村上照子, 今井家子, 尾山とし子, 酒井明子 (2003.8). 避難所における救護活動の看護アセスメント能力, 第5回日本災害看護学会年次大会

〈助成・報告書・その他〉

- 1 江藤節代. 慢性腎疾患をかかえて生活する思春期の子どもをもつ家族の体験 (学内奨励研究)

## 精神看護学

### 〈著書〉

- 1 坂本洋子 (2002). 思春期拒食へのアプローチ, 高石昌弘, 鈴木美智子編著. 「保健室における養護教諭の対応」145-155, 開隆堂出版, 東京
- 2 石橋通江 (2002). ライフタスクとフィールドワーク - 「故郷回帰」の一症例 -, 全94p, 中川書店, 福岡.

### 〈論文〉

- 1 石橋通江 (2003). 三浦綾子の作品にみる人格発達 - 「この重きバトンを」を題材にして -, 比較思想論輯 - 比較思想学会福岡支部紀要 -, 第5号, 63-71.

### 〈学会発表〉

- 1 大塚邦子, 石松直子, 坂本洋子 (2002). シングルセッション・カウンセリングの実態と有効性 - 看護師を対象とした場合 -, 日本産業カウンセリング学会第7回大会, 論文集, 117-120
- 2 関根剛, 齋藤高雅, 坂本洋子, 藤野ユリ子 (2002). 電話相談ボランティアの経験年数と共感性の関連, 第18回日本精神衛生学会

### 〈助成・報告書・その他〉

- 1 坂本洋子. 不登校の予防と対応, 宗像市立赤間西小学校 (福岡), 2002年9月
- 2 坂本洋子. 学校での危機介入 - クライシス・カウンセリングを中心に -, 日本教育カウンセラー協会主催教育カウンセリング講座 (山口), 2002年9月
- 3 坂本洋子. やる気を起こさせる関わり方, 福岡赤十字病院看護部主催指導者研修会 (福岡), 2002年10月
- 4 坂本洋子. 教職員のメンタルヘルス, 宗像市健康教育研究大会 (福岡), 2002年11月

## 地域看護学

### 〈著書〉

- 1 喜多悦子, 下山節子, 松尾和枝. 学生のための医療概論 - 医療の国際化 - 途上国における保健医療活動 -, 医学書院, P219-227
- 2 喜多悦子, 下山節子, 松尾和枝. これからの国際保健医療協力 - 世界の健康, 途上国の保健 -, 生活教育, 47 (4), 2003, P2-3

### 〈論文〉

- 1 小林裕美, 大田明英 (2003). 自己道尿を行う患者における導入時からの心理的变化およびそれに影響を及ぼす背景について, 看護研究, 36 (1), 53-64

### 〈助成・報告書・その他〉

- 1 松尾和枝. 生活習慣形成期の学童に対する健康教育方法の検討 (学内奨励研究)

## 国際看護学

### 〈論文〉

- 1 秦野環 (2003). 開発協力における住民参加と労働提供－ネパールにおける飲料水供給・衛生環境改善事業を通して－. 比較思想論輯－比較思想学会福岡支部紀要－, 第5号, 85－99.

### 〈学会発表〉

- 1 秦野環 (2003). 開発協力における住民参加と労働を考える, 比較思想学会福岡支部第40回大会.

## 管理・教育・研究領域

### 〈論文〉

- 1 宮林郁子, 宮脇美保子, 谷垣静子, 人見裕江, 仁科幸枝 (2002). 移植事情 ヘルスプロフェッションの視点. Brain Nursing, 18(4), 438－442.
- 2 宮林郁子, 谷垣静子, 宮脇美保子, 人見裕江, 松浦治代, 三瓶まり, 矢倉紀子 (2002). フロリダ大学看護学部との交流と課題 平成13年度教育改善推進助成報告. 米子医学雑誌, 53(4), 223-227.
- 3 Miyabayashi, I. (2002). Depression and Suicidal Behavior in the elderly: A literature Review. Yonago Acta Medica, 45(3), 69－73.
- 4 Tanigaki S., Miyabayashi I., and Miyawaki M. (2002). Relationship between the quality of life in patients with Intractable Diseases and the information telecommunication service. Yonago Acta Medica, 45(3), 89－93.
- 5 人見裕江, 人見麻希子, 荒井慶子, 小野敬史, 中村陽子, 田中久美子, 徳山ちえみ, 小河孝則, 畝博, 谷垣静子, 宮林郁子 (2002). 学童保育作り運動を中心とした子育て支援における特定非営利活動 (NPO) の役割. 教育保健研究 12, 45－54.
- 6 谷垣静子, 人見裕江, 宮林郁子 (2002). 訪問看護ステーションの経営状況とサービス評価. 米子医学雑誌 53(4), 223－227.
- 7 稲光哲明, 谷垣静子, 笠置綱清, 宮林郁子, 富田豊, 前田隆子, 川原隆造 (2002). インドネシア在住邦人の生活習慣病と健康管理. 心身医学 42(12), 809－815.

### 〈学会発表〉

- 1 宮林郁子, 南前恵子, 松浦治代, 谷垣静子, 宮脇美保子 (2002). 精神看護実習－学生の到達感－. 日本看護学教育学会誌 12, 254.
- 2 宮林郁子, 宮脇美保子 (2002). 脳死臓器移植に対する意識－調査からみた今後の課題－ 第14回日本生命倫理学会
- 3 宮林郁子, 南前恵子, 松浦治代, 谷垣静子, 倉敷桂子, 原口由起子, 矢倉紀子 (2002). 看護学生のストレスに関する調査からの一考察. 第61回日本公衆衛生学会

- 4 嘉悦明彦, 尾崎米厚, 黒沢洋一, 福島哲仁, 倉敷桂子, 南前恵子, 宮林郁子, 岸本拓治 (2002). 鳥取県の地域蚕業保健センターに対する小規模事業所の産業保健ニーズ. 第75回日本産業衛生学会
- 5 松浦治代, 阿部由起子, 松南明美, 原口由起子, 宮林郁子, 矢倉紀子 (2002). グループインタビューを用いた成人男性の健康認識と保健行動についての検討. 第61回日本公衆衛生学会
- 6 岸本拓治, 岡本幹三, 尾崎米厚, 嘉悦明彦, 倉敷桂子, 南前恵子, 宮林郁子 (2002). 「死の四重奏」と乳癌罹患リスク. 第61回日本公衆衛生学会
- 7 尾崎米厚, 嘉悦明彦, 岡本幹三, 岸本拓治, 倉敷桂子, 南前恵子, 宮林郁子 (2002). わが国の中高生の嫌煙行動に関連する要因についての研究. 第61回日本公衆衛生学会
- 8 岡本幹三, 嘉悦明彦, 尾崎米厚, 岸本拓治, 倉敷桂子, 南前恵子, 宮林郁子 (2002). 鳥取県における大腸がんの罹患・死亡の動向に関する研究. 第61回日本公衆衛生学会
- 9 嘉悦明彦, 岡本幹三, 尾崎米厚, 岸本拓治, 倉敷桂子, 南前恵子, 宮林郁子 (2002). 児童・生徒における肥満と血圧, 血清脂質との関連. 第61回日本公衆衛生学会
- 10 宮脇美保子, 松田明子, 宮林郁子, 谷垣静子 (2002). 新人看護師1年目の体験. 日本看護科学学会学術集会講演集 22, 377.
- 11 谷垣静子, 宮林郁子, 人見裕江, 宮脇美保子 (2002). 家族介護者にかかわる関連要因. 日本看護科学学会学術集会講演集 22, 475.
- 12 人見裕江, 谷垣静子, 宮林郁子, 中村陽子, 岡京子, 斎藤美智子, 郷木義子, 田中久美子, 三村洋美 (2002). 日本看護研究学会雑誌 25(3), 271.
- 13 倉敷桂子, 尾崎米厚, 嘉悦明彦, 岡本幹三, 南前恵子, 宮林郁子, 岸本拓治 (2003). 鳥取県における脳血管障害発症の週間及び季節変動について. 日本衛生学雑誌 58(1), 169.
- 14 南前恵子, 岡本幹三, 尾崎米厚, 嘉悦明彦, 倉敷桂子, 宮林郁子, 岸本拓治 (2003). 鳥取県における高血圧とがん罹患の関連性に関する後ろ向きコホート研究. 日本衛生学雑誌 58(1), 213.

〈助成・報告書・その他〉

- 1 宮脇美保子, 筒井真優美, 宮林郁子, 谷垣静子 (2002). 大卒新人看護師の成長を助けるケアリングに関する質的研究. 平成13年度木村看護教育振興財団看護研究集録 10.117-128.
- 2 谷垣静子, 矢倉紀子, 宮林郁子, 人見裕江, 松浦治代 (2002). マーケティング・リサーチ手法を用いた神経難病患者の地域ケア開発の研究. 平成13-14年度科学研究費補助金 (基盤研究C) 研究成果報告書